

36
9

訓

示

0501

訓示

太平洋ノ風雲急ニシテ皇國將ニ存亡ノ關
頭ニ立ツノ秋第十四軍ノ戰鬪序列ヲ令セ
ラレ本職揣ラスモ軍司令官ノ大命ヲ拜ス
間外ノ負托極メテ重且大ナルモノアルヲ
念ヒ恐懼感激洵ニ其及ハサルヲ恐ルルモ
只管御稜威ト神明ノ加護ノ下ニ一意諸
官ト共ニ聖諭ヲ奉戴シ死力ヲ竭シテ任
務ノ完遂ヲ期セントス
夫レ百年兵ヲ養フハ一旦ノ爲ナリ皇軍力
新タナル敵ニ對シ再ヒ其光輝アル使命ニ
蹶起シ無比ノ傳統ト平素練成ノ神髓トヲ
發揮シテ一死奉公ノ至誠ヲ君國ニ捧クル

0502

時機ハ方ニ今日ニ在リ
軍ハ宜シク鐵石ノ團結ヲ固成シ益志氣ノ
昂揚ニ努ムルト共ニ形而上下ニ亘ル作戰
準備ニ萬遺憾ナカラシメ大命一下必勝不
拔ノ信念ヲ以テ直ニ任務ニ突進シ電光石
火神速ニ其成果ヲ獲得セサルヘカラス
以上ノ見地ニ基キ特ニ次ノ三點ヲ諸官ニ
要望スル所アラントス
一、軍紀ノ振作ニ就テ
皇軍ノ皇軍タル所以ハ三千年ノ歴史ヲ
背景トスル日本精神ニ發シ軍紀峻嚴ニ
シテ秋毫モ犯ストコロナキニ存ス而シ
テ軍紀ノ弛張ハ直チニ軍ノ活動力ヲ支

0503

35
配シ又皇軍ノ威信ヲ左右ス軍ハ宜シク
其末梢ニ至ル迄統帥ノ尊嚴ナル所以ヲ
感銘シ一令ノ下克ク寸毫ノ紊ルナキ
ヲ期セサルヘカラス就中編成完結後日
尙淺キ諸隊ニ於テハ特ニ此ノ際團結掌
握ノ確固ト相俟チ速カニ軍紀ノ振作ニ
努ムルコト切要ナリ又諸官ハ部下ヲシ
テ戰陣ノ間ニ於テ最モ其敬禮ヲ嚴正ナ
ラシムル如ク指導スル傍ラ常ニ大國民
タルノ襟度ヲ持シ遍ネク戰野ノ民ヲシ
テ仰イテ皇軍ノ神武ニ感銘セシメ欣然
進ンテ我ニ協力スルニ至ラシムルノ德
風ヲ涵養セシムヘシ

0504

二、作戦ノ本質ト之ニ應スル心構ニ就テ
本、次、作、戦、ノ、特、色、ハ、初、期、萬、里、ノ、波、濤、ヲ、冒、
シ、海、陸、空、ヨ、リ、ス、ル、敵、ノ、妨、碍、ヲ、排、除、シ、ツ、
ツ、各、兵、團、相、互、著、シ、ク、隔、絶、セ、ル、方、面、ニ、上、
陸、作、戦、ヲ、強、行、ス、ル、ニ、在、リ、其、困、難、危、險、從、
來、ノ、支、那、事、變、ト、對、比、ス、ヘ、ク、モ、ア、ラ、ス、又、
他、面、軍、ハ、南、方、作、戦、ノ、最、先、鋒、ト、シ、テ、而、カ、
モ、皇、國、多、年、ノ、宿、敵、ニ、シ、テ、且、ツ、東、亞、新、秩、
序、建、設、妨、碍、ノ、元、兇、ト、始、メ、テ、戦、場、ニ、見、ユ、
ル、モ、ノ、ニ、シ、テ、其、成、果、ハ、全、般、ノ、戦、争、指、導、
ハ、固、ヨ、リ、他、方、面、ノ、作、戦、ニ、深、刻、ナ、ル、影、響、
ヲ、齎、ス、モ、ノ、ナ、リ、
諸、官、ハ、深、ク、思、フ、茲、ニ、致、シ、日、支、事、變、長、キ、

0505

ニ起因スル漫性的非常時意識ヲ一掃シ
 全ク新ナル覺悟ト異常ノ決意トヲ以テ
 全力ヲ舉ケテ戰鬪能力ノ發揮ニ完璧ヲ
 期スヘク固ヨリ敵ヲ恐レスト雖モ之ヲ
 侮ラス周到ナル用意ト十分ナル戒心ト
 ヲ加ヘ舉軍一兵ニ至ル迄灼鐵ノ如キ必
 勝ノ信念ニ透徹セサルヘカラス
 三、企圖ノ秘匿ニ就テ
 惟フニ軍今次作戰ノ成否ハ一二懸ツテ
 企圖ノ秘匿如何ニ存スト謂フモ過言ニ
 アラス企圖ハ常ニ些末ノ片鱗ニ於テ其
 全貌ヲ曝露スルコト多キニ鑑ミ防諜ニ
 關スル規定ヲ格守スルト共ニ不用意ナ

0506

ル片言不謹慎ナル一動ニ依リ九俵ノ功
ヲ一簣ニ缺クコトナキ様特ニ細心ノ工
夫ト適切ナル指導トニ依リ萬遺算無キ
ヲ期スヘシ
之ヲ要スルニ皇國カ其興亡ヲ賭スル本次
作戰ニ於ケル我軍ノ使命ハ光輝ニ滿ツト
雖モ其責務タルヤ重大ナリ而シテ軍ノ任
務遂行カ諸官ノ卓越セル統帥指揮ト堅忍
不退轉ノ意力トニ俟ツモノ極メテ大ナル
モノアルヲ思ヒ諸官ノ至誠ト責任觀トニ
信賴シテ軍ノ使命完遂ニ邁進シ以テ
聖慮ニ副ヒ奉ランコトヲ期ス

0507

昭和十六年十一月二十五日

第十四軍司令官 本間 雅晴

0508